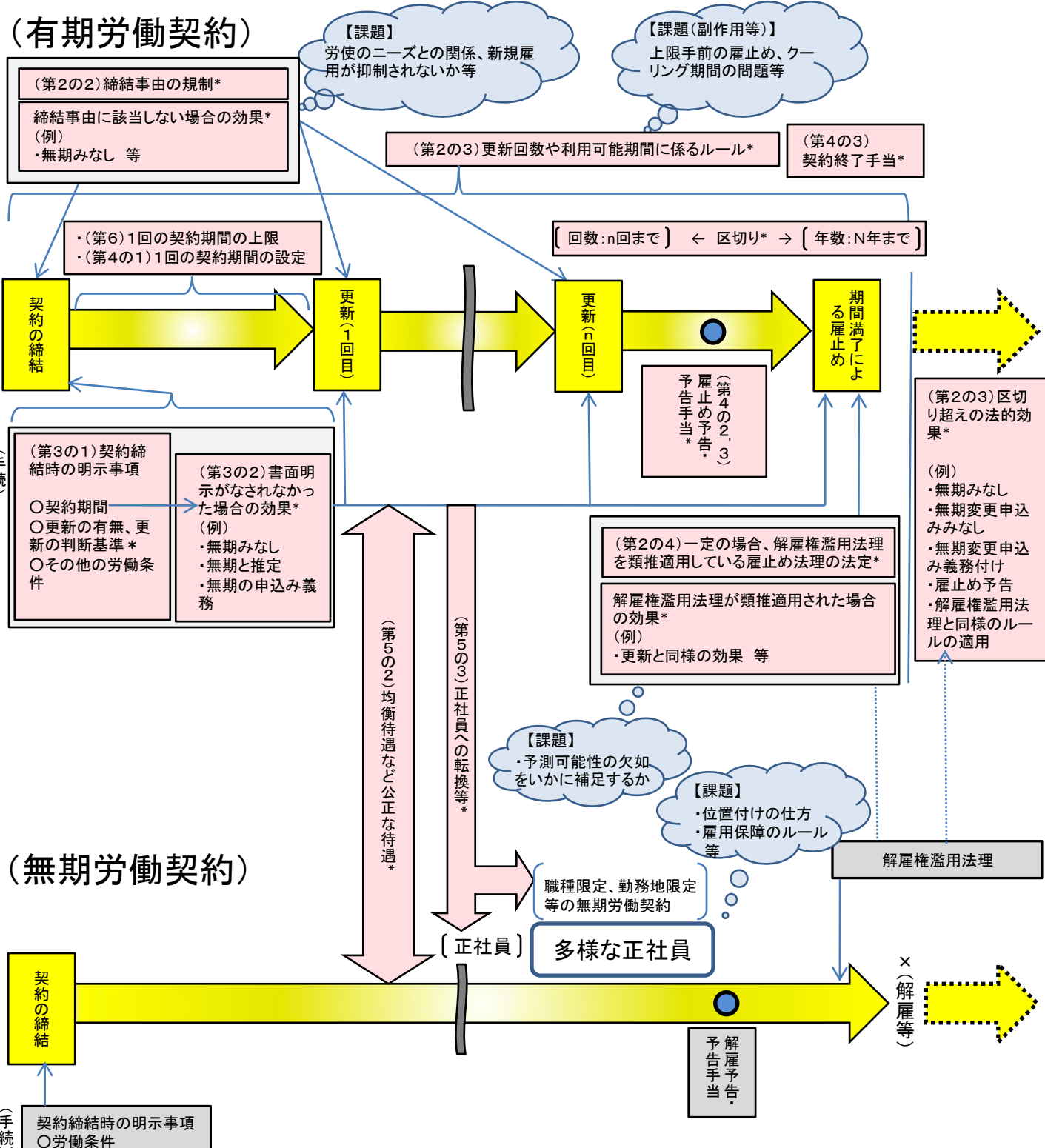


(第1)現状と課題

- ・有期契約労働者は労使の多様なニーズにより増加、多様な集団に
(自らの都合に合った働き方である場合、正社員としての職を得られずやむを得ず就いた場合、継続雇用される実態等)
- ・雇用の不安定さ、待遇等の格差、職業能力形成が不十分等の課題

→ 雇用の安定、公正な待遇等を確保するため、契約の締結時から終了に至るまでを視野に入れて有期労働契約の不合理・不適正な利用を防止するとの視点を持ちつつ、ルールや雇用・労働条件管理の在り方を検討し、方向性を示すことが課題

(有期労働契約)



(注1) 有期労働契約研究会報告書の内容を整理したもの。「第〇の〇」は対応する報告書の項目

(注2) *は現行法上ないルール